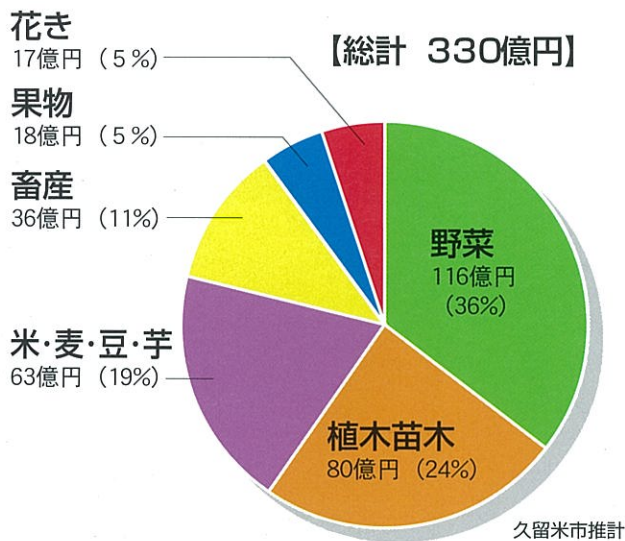


■ 久留米市の農業産出額の品目別割合(平成20年)

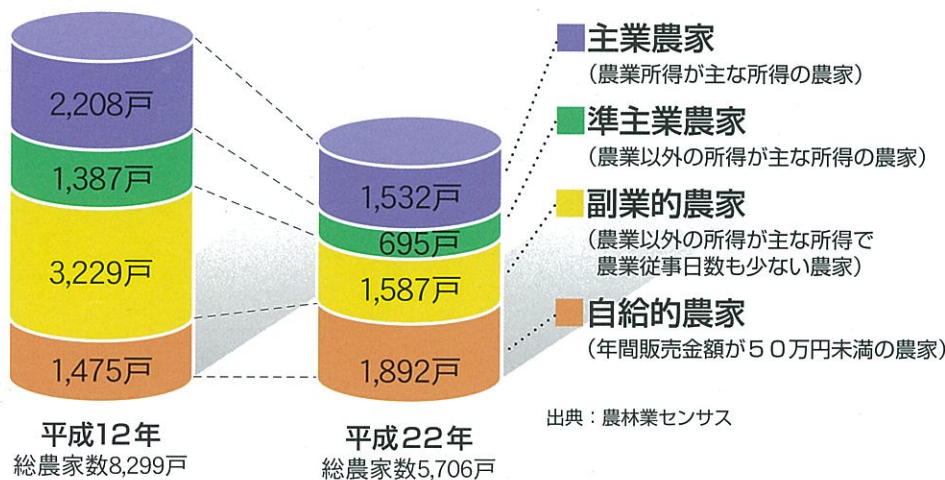


私たちの住む久留米市は、豊かな水と緑に恵まれ、昔から農業が盛んに行われてきました。農業は、野菜や果物やお米などを作るだけでなく、豊かな農村を形成する大切な役割も果たしています。

私たちみんなで、久留米市で生産される美味しい農産物を味わい、市民共通の財産である本市の農業と美しい農村景観を守り、素晴らしい久留米市の農業・農村を未来に伝えていきましょう。

〈くるめの農業2011〉では、久留米市の豊かな「食と農」を創造するために、日々活躍している方々や農産物の中から11の事例を紹介しています。

■ 久留米市の農家数の推移(平成12年→平成22年)



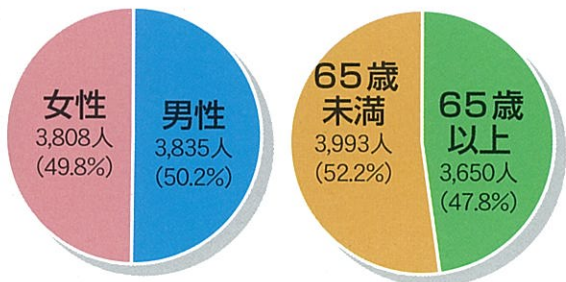
**米・野菜・植木苗木等の農産物をバランス良く生産**

久留米市の農業は、米・麦・大豆、野菜、果物、植木苗木、花き、畜産など様々な品目を生産しています。

最も産出額の大きい品目が野菜で、全体の36%を占めています。また、植木苗木の産出額が大きいために、久留米市の農業生産の特徴となっています。

■ 久留米市の農業就業人口(平成22年)

【7,643人】



2ha以上経営する農家数と総農家数に占める比率

平成12年：926戸 (11.2%)  
平成22年：779戸 (13.7%)

販売金額1千万円以上の農家数と総農家数に占める比率

平成12年：700戸 (8.4%)  
平成22年：613戸 (10.7%)

**農家が減少する中で大規模な経営体の比率が増加**

5年ごとに農業者に関する統計調査を行う農林業センサスの結果によると、農家数が年々減少しています。

その一方で、経営耕地面積2ha以上、販売金額1千万円以上の大規模な経営を行う農家の比率が増加しています。

出典：農林業センサス